

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	基礎作業療法学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年		学期及び曜時限	前期 月 7	教室名	織物手工芸室
担 当 教 員	椿原 一郎	実務経験とその関連資格	作業療法士として近江温泉病院、シニアセンターティファニー(身体障害系)に勤務。対象者の退院に向け、治療や動作指導などに従事。			
《授業科目における学習内容》						
作業・作業活動について理解し、作業活動の臨床応用を実際の体験を通じて、学習し説明できるようにする。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート :100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・つくる・あそぶを治療に活かす 作業活動実習マニュアル 第2版						
《授業外における学習方法》						
さをり織りについては実習先で学んでもらいます						
《履修に当たっての留意点》						
セルフワーク中心の体験授業になる。講義時間は集中して取り組んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 授業を通じての到達目標	革細工の作業理解と治療応用について説明できる。		教科書 革細工道具一式	レポートの作成を進めておく	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション・革細工作業				
第2回	講義 授業を通じての到達目標	革細工の作成		教科書 革細工道具一式	レポートの作成を進めておく	
	各コマにおける授業予定	革細工作業				
第3回	講義 授業を通じての到達目標	革細工の作成		教科書 革細工道具一式	レポートの作成を進めておく	
	各コマにおける授業予定	革細工作業				
第4回	講義 授業を通じての到達目標	陶芸の作業理解と治療応用について説明できる。		教科書 陶芸道具一式	レポートの作成を進めておく	
	各コマにおける授業予定	陶芸作業				
第5回	講義 授業を通じての到達目標	陶芸作品の作成		教科書 陶芸道具一式	レポートの作成を進めておく	
	各コマにおける授業予定	陶芸作業				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	陶芸作品の作成	教科書 陶芸道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	陶芸作業		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	陶芸作品の作成	教科書 陶芸道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	陶芸作業		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	陶芸作品の作成	教科書 陶芸道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	陶芸作業		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	陶芸作品の作成	教科書 陶芸道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	陶芸作業		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	陶芸作品の作成	教科書 陶芸道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	陶芸作業		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	さをり織りの織りが説明できる。	さをり織り道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	さをり織り作業		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	さをり織り	さをり織り道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	さをり織り作業		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	さをり織り	さをり織り道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	さをり織り作業		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	さをり織り完成	さをり織り道具一式	レポートの作成を進めておく
		各コマにおける授業予定	さをり織り作業		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	さをり織りについて説明できる。	レジユメ	なし
		各コマにおける授業予定	さをり織りについて。		